

武井 誠 活動報告

武井 誠 を励ます会

〒350-0253 埼玉県坂戸市北大塚 40
TEL 049-289-2527 ケイタイ 090-9854-5175
<http://www.takei-makoto.org/>
E-mail takei@sakado-gr.org

30号

- ◆8月25日埼玉県に大野元裕新知事誕生
- ◆坂戸市議会 9月定例会等の報告
- ◆教育・人権・平和 武井 誠の一般質問
- ◆福島第一原発事故は終わっていない
- ◆無料法律・年金相談などのお知らせ

埼玉県に大野元裕新知事誕生

8月25日投・開票の埼玉県知事選挙は、私たち立憲野党4党の支持・支援する大野元裕氏が92万3482票を獲得、自民・公明の推す対立候補に6万票近い差をつけて当選を果たしました。投票率は前回の2015年を5.68ポイント上回る32.31%でした。

私(武井)は社民党埼玉県連合代表として、告示前に大野氏と2回懇談し、公約をはじめ、平和憲法、エネルギー政策、民族差別などについて意見交換を行いました。「国会議員として安保関連法廃止法案やヘイトスピーチ解消法案等の作成にかかわってきた気持ちは今も変わらない」とのこと。私たちの主張に真摯に耳を傾け、よく理解されたうえで率直に意見を述べられる大野さんの姿勢に信頼感が増しました。暑い選挙でしたが地方議員を中心に全力を尽くしました。立憲野党共闘の大きな成果だと思えます。

就任後すぐ「豚コレラ」発生という緊急事態に直面している新知事ですが、的確な判断で対処されていると感じます。

社民党埼玉県連合は例年「県政要望」を行っています。県内各地域からの要望も取りまとめ11月上旬に知事と面会し直接要望書を手交、後日丁寧な回答が示されます。

昨年度は坂戸総支部から、市内の水害対策と交通安全対策について具体的に要望をしました。ぜひ、ご意見をお聞かせください。



8月14日、川越駅東口前での「マラソン街頭演説」で真っ黒に日焼けされた大野もとひろ候補(当時)と固い握手

無料相談会 好評継続中

弁護士、社労士、税理士、心理カウンセラーが無料で相談に応じます。

13時から武井誠との市民生活相談、14時から社労士さんによる年金相談、15時から弁護士さんによる法律相談。相談時間は1回30分です。税務、家庭相談は随時(要予約)。

次回は 10月19日(土)

次々回は 11月30日(土)

◆ホームページの活動日記を毎日更新しています。「武井誠」と入力し検索をクリックしてください。ツイッター、フェイスブックからも発信しています。◆無料メールマガジンも通算140号になりました。原則として毎月1日、15日に配信しています。武井誠ホームページからお申し込みください。

9月議会報告 武井誠の質疑、一般質問を中心に

坂戸市議会9月定例会は9月19日に閉会しました。武井誠は2018年度の決算認定等、全議案に賛成しました。そのことを含め、武井誠の本会議、市民福祉常任委員会での質疑、一般質問などについて報告をします。

9月議会を振り返って

坂戸市の2018年度一般会計決算は歳入309.5億、歳出299.4億。基金や繰越金分を除いた実質収支は9.6億の黒字、基金残高は51.4億となりました。経常収支比率は91.1%でした。

坂戸市は人も公共施設も、超高齢社会に突入しています。今後、社会保障費の大幅増加が予想される中、市は「行財政改革で歳入・歳出を見直しながら、定住政策推進、企業誘致に取り組んでいく」とのこと、来年度の予算編成に向けて様々な角度からの議論が求められています。

10月からの消費増税をはじめ、急増する在日外国人との共生、保育無償化に伴う市の財政負担の懸念、予想される介護保険、年金、国民健康保険の変更が第6次総合振興計画や来年度予算編成に与える影響などについて、委員会や一般質問で市の姿勢を問いました。

総合振興計画についてはローリング方式で毎年見直していくとのこと、その他は「国動向を注視し・・・」という答弁でした。

石川市長の「動物的勘」は

「今年に入ってから石川市長は、公的な場でのあいさつで再三『亥年は激動の年、私は動物的勘で3つの危機を感じている。①安倍内閣の専横に起因する政治的危機②中国発の経済的危機③大規模自然災害の危機、そして予感が外れることを願って・・・』とあいさつを結ばれている。共感するところも多いが、どの危機も亥年から子年になったら解決するという問題ではない。またどれも坂戸市民の生活に多大な影響を及ぼす。私が今、一番喫緊の課題と感じるのは、格差拡大の中で経済的に困窮した市民の方からの相談が増えていることだ。以上を踏まえ、市長はどういう坂戸市の将来像を描いているのか」と質問しましたが、答弁は「財政基盤の安定がなければ何もできない。地に足をつけて一步一步やっていきたい。子どもたちにしっかりお

を使いたい。市民に喜ばれるまちづくりをやっていきたい。」という従来通りのものでした。

会計年度任用職員制度の動向

耳慣れない言葉ですが、法律が変わり、来年度から、全国のすべての地方自治体で、臨時・非常勤職員の任用要件を厳格化し、新たに期限付任用である「会計年度任用職員」制度が新設されます。武井誠は、雇用継続と正規職員との均衡を求める改正法の趣旨にそった改革となるように、昨年12月議会で質問を行いました。

この9月議会で条例が提案され、武井誠は質疑を行い、条例案は全会一致で可決されました。しかし採用、賃金、勤務時間その他の勤務条件について、さらに詳細な資料が必要であると感じています。

行財政改革の名のもとに正規採用の職員数を減らし続け、委託や臨時・非常勤職員に過度の負担を強いるような状況があります。行政の姿勢が民間事業に与える影響も大きいことから、少なくともこの改革が、ベクトルが上を向いている改善となるように、引き続き注視して行きます。

議員提出2議案 全会一致で可決

議会最終日、議員提出の2議案が全会一致で可決され2つの条例が制定されました。

「坂戸市振り込め詐欺等の被害防止に関する条例」と「坂戸市手話言語条例」です。

提案まで中心になって努力されてきた議員に敬意を表します。

特に「市民の手話への理解を広げ、手話の普及促進を図り、『ろう者』と『ろう者』以外の者とが、手話により心を通わせ、住み慣れた地域でともに生きるまちを目指す」手話言語条例の成立については、関係施設の視察研修や当事者の方からのレクチャーなどを経てきたので、感慨深いものがありました。どちらもいわゆる「理念条例」に近いものですが、これからこの条例をもとに市として何をすべきか、具体的提案をしていきます。

人権尊重の地域、学校教育を

教育や人権の問題は、武井誠のライフワークです。議会でも様々な側面から市と教育委員会の姿勢を問うてきました。ここ数回の議会の動きを、まとめさせていただきます。

「子どもの権利条約」の精神を学校に

部活動ガイドラインの徹底を

地域のクラブチームという名目で、部活動を延長して行い、練習日や練習時間などのガイドラインが有名無実化しているという、保護者の方からの相談を受け、3月と6月の議会で勝利至上主義、体罰、パワハラの問題を含めた一般質問を行いました。

中学校教員の過酷な長時間勤務の問題もあります。教育委員会が実態を調査し、2回の一般質問で、一定の歯止めをかけることができました。

子どもの人権と中学校「校則」

制服、髪型などの問題や登下校の持ち物の重さについて中学生からの要望があり、いわゆる「校則」によって生徒の人権が侵害されていることはないか、「校則」に生徒の意見は反映されているか質問をしました。

「生徒の意見も聴き、校則は、結果として必要最小限に」という答弁を得ました。「制服」を男女別にせず、特に女子のスラックスを認める方向に動き出したのは大変良かったと思います。

同性パートナー等公的認証制度を坂戸市にも



LGBTの方たちの人権を保障する公的認証制度を求める請願は、「難産」でしたが昨年、9月定例会において全会一致で採択をされました。紹介議員として感無量でした。

その後も、請願を採択する議会、制度を実施する自治体（全国で26）が増えています。左写真は5月に日比谷公園で行われる集会の一コマ、ここ数年で性的少数者の人権を保障する動きが大きく加速しています。9月議会で、本市での早期実施を求める一般質問を行い、石川市長から「**実現に向けて積極的に取り組んでまいります**」との答弁を得ました。

請願 辺野古新基地建設中断 意見書を国会へ

川越市議会は継続審査中、坂戸市議会は不採択

国政選挙、知事選挙、県民投票で再三示された新基地建設反対という沖縄県民の民意を無視して、美しい辺野古の海に、今も土砂が投入され続けています。軟弱地盤などのため、いつできるか、いくらかかるかもわからないままでの強行です。

坂戸市議会6月定例会に、国会への意見書提出の請願が出され、武井は紹介議員となり自然保護と民主主義、地方自治を訴えて頑張りましたが、総務文教常任委員会で賛成少数不採択となりました。川越市議会では9月議会に請願が提出さ

人権フェスティバル

第17回は坂戸市で

2019年11月19日(火)

12時開場 12:30開演
坂戸市文化会館ふれあ

講師 ダニエル・カール氏

入場無料、どなたでも参加できます。武井誠は実行

あなたの平和・私の人権 ～連載：市民の声⑥～

「リレー エッセイ」のコーナー。あらゆるジャンルの様々な方の声を掲載させていただいています。今回は去る 2019 年 9 月 21 日、栃木県那須野が原高原の放射線量を測定された市民の方からの投稿です。

線量計の数値に驚愕

坂戸市民 M

友人から「知らない人のツイッターで、栃木県の深刻な様子が報告されているけれども、確かめに行ってみませんか」というお誘いを受け、9月21日の午後、片道2時間かけて栃木県那須野が原公園へ行ってきました。

東北自動車道、西那須野ICから5分くらいのところ。駐車場の端が、何か所か立ち入り制限されていました。線量計は地表付近で毎時0.5μシーベルト前後の数値を示しました。なぜ立入制限されているかの表示は何もありません。近くの林の中は毎時1.2μシーベルトを超えていました。除染した水の集まったところがホットスポット化したようです。ちなみに坂戸市の除染基準は地表50cm（子どもの活動するところでは地表5cm）で毎時0.25μシーベルトです。この公園には子ども連れでレクリエーションに訪れている人も多かったです。

なにも知らされていないのでしょうか。気にしただしたら生活できないので心に蓋をしているような気がします。



駐車場わきの、林では毎時1.214μシーベルトでした。

数年前に福島県郡山市の開成山公園で見た光景が思い出されました。

原発事故は、まったく収束していません。そしてその健康被害は、小児甲状腺がんの多発に示されている通り、細胞分裂の盛んな子どもたちから顕在化していきます。心が痛いのです。取り返しのつかない大事故です。

それにつけても、その責任者が、3人とも無罪という判決に憤りを禁じえません。

報道の現場から

望月衣塑子講演会

日時 12月11日(火)夕刻

場所 ウエスタ川越



台風15号風水害

災害救援カンパ

カンパにご協力ください。郵便振替をご利用の場合は下記までお願い致します。

郵便振替口座番号

00150-7-78237

社民党埼玉県連合



坂戸ギタークラブが「歌のつどい」を出前します(^_^)!

坂戸ギタークラブ(代表:武井)は入西地域交流センターの定期利用団体です。初級のクラシックギター合奏を楽しんでいます。毎月第1・第3・第4日曜の午後に練習しています。(第4日曜は古典ギター)。いつでも見学できます。童謡・唱歌・懐かしい昭和歌謡の「歌の集い」の伴奏もします。お気軽にお声かけください。詳しくはホームページに「坂戸ギタークラブ」で検索してください。

←9月13日には勝呂公民館主催の「お月見の会」で演奏させていただきました。(写真は昨年度。)